

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第1回 上尾市男女共同参画審議会
開催日時	令和6年10月8日（火） 14時00分から15時55分まで
開催場所	上尾市役所 本庁舎7階 大会議室
議長(委員長・会長)氏名	石川 裕一郎
出席者(委員)氏名	酒井 憲司、浅沼 正義、舩生 養子、野口 佳織、一ノ瀬 隆、 内田 富美代、小野 陽平、甲原 裕子、石井 裕幸、浅賀 祐子、 尼崎 慎一郎
欠席者(委員)氏名	なし
事務局(庶務担当)	(市民生活部) 畑部長、秋山次長 (人権男女共同参画課) 内山課長、田村主幹、町野主任、 小暮主任、内田事務業務員 (環境総合研究所) 大谷氏、野口氏
会 議 事 項	委嘱状交付
	1. 開 会 2. 委嘱状の交付（後任委員のみ） 3. 市民生活部長挨拶
	第1回会議
	1. 会長挨拶 2. 自己紹介（各委員・環境総合研究所・事務局） 3. 議 事 上尾市男女共同参画市民意識調査・実態調査票（案）について 4. 報告事項 ①令和6年度版上尾市男女共同参画計画年次報告書（案）（令和5年度実施状況）について ②上尾市困難女性支援ネットワークの発足について ③その他 5. 閉 会
議事の経過	別紙のとおり
会議資料	資料1：上尾市男女共同参画市民意識・実態調査票（案） 資料2：令和6年度上尾市男女共同参画計画年次報告書（案）（令和5年度実施状況） 資料3：市民意識調査同封チラシ 資料4：審議会等における女性の登用状況 資料5：年度比較（審議会女性比率） 資料6：上尾市困難女性支援ネットワーク 概要 資料7：上尾市困難女性支援ネットワーク講演会『DV・性加害はなぜ起こるのか』 資料8：人権について考えるつどい第25回あげおヒューマンライツミーティング 21
議事のてん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和6年10月27日 議長(委員長・会長)の署名 会長 石川 裕一郎 議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)	

議 事 の 経 過

発言者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	●開 会
	●委嘱状の交付（後任委員のみ）
部長	●市民生活部長挨拶
会長	●会長挨拶
各委員	●委員自己紹介
事務局	●事務局自己紹介
事務局	第1回審議会開催 ●資料の確認
課長	●定数報告：出席者は12人 欠席者は0人 （上尾市男女共同参画「推進条例第17条2項の規定」により成立）
会長	●非公開内容の確認 非公開内容はなし 会議は公開とする
課長	●傍聴希望者はなし
会長	●議事 「上尾市男女共同参画市民意識調査・実態調査票（案）」について
事務局	上尾市男女共同参画市民意識調査・実態調査票（案）の調査目的、調査概要、調査票の内容を説明。
委員	●質疑応答 6頁、問8の回答「2 女性（男性）の性的側面を過度に協調するなど、行き過ぎた表現が目立つ」の『協調』は『強調』ではないか。 調査の対象者は若年層が少なく、高齢者層が多くなると思う。クロス調査をしないと回答率もブレがあると思う。その調査結果だけで市民全般の意向とは捉えられないのではないか。 2頁、職業欄の「5 専業主婦、専業主夫」について、退職して無職ではあるが家事をやっている場合どちらにつけたらよいか迷うと思う。この専業主婦、専業主夫の項目について意図を聞かせてほしい。 4頁、問6「あなたは、次の分野で男性と女性の地位が平等になっていると思いますか。」の回答で、地位の場合は優位か下位のような形で、優遇というと手厚くもてなしたり良い待遇を与えたりすることになる。優遇という言葉を使った理由について聞かせてほしい。
事務局	『強調』の漢字の間違いについて、修正する。

事務局	調査の対象者について、前回の結果では回収率が 37.9%、2,000 通送り 757 通が返ってきた。どのようなアンケートにおいても若い方の回答率は低く、高齢になるほど高くなっていく。757 通を 1 つの母集団として市民の総意にすると、高齢の方の意見に引っ張られた結果になってしまうため、男女共同参画については性別・年齢別で回答を見ることが非常に大事になってくる。結果をまとめる際は性別・年齢別でのクロス集計を行う。 職業について、アンケート調査では意識の経時変化がどのような形で起きているか、前回・前々回と比較して今回はどうか、という見方をさせていただければと思っている。そのため前回と同じ選択肢を継続して行うほうが、変化がわかりやすい。他の設問でも基本的には前回調査の内容を踏まえて、新たに付け加えるべきものがあれば対応する形で調査票の設定している。 優遇という言葉について、国の調査で同様の言葉が使われており、前回の市の調査においても使用している。比較の観点から今回そこから外れることはしない方がよいと判断した。
委員	2,000 人の有効回答率で若年層が低いという点について、若年層の数を増やして回答率 20%でもそれなりに返ってくるようにすることは考えられなかったのか。 「性について悩んだことがあるか」の設問削除について、前回 9 人しかいなかった・設問が増えたため回答者の負担を減らすためとあったが、少ないというデータを取ることも計画の参考にするために大事かと思った。 回答率が高い高齢者に引きずられた計画ではなく、回答率が低い若年層の悩みを多く拾って計画に盛り込んでいくことも大事ではないか。
事務局	回答率の低い若年層により多く配布することについて、確かにその通りやればそうなるかと思う。しかしアンケート調査は費用がかかる。上限 2,000 の中で年代毎の配布数を調整すれば可能かもしれないが、今回は残念ながらそこまではしていない。また、統計学的に結果が信頼できるかどうかを判定する基準は 390 弱ぐらいの回答数が必要になってくる。若い人の数を多く入れたとしても、その数には届かない。統計調査をする上で悩ましいところだが、そこはやむを得ない。 年齢階層別のクロス集計によって結果がなだらかに、年齢によって変わってきているかどうかでもって結果が妥当か推測・判断をさせていただくこともある。 性の悩みの設問削除について、調査票は 4 の倍数で作成しており今回は 16 頁になる。調査票が厚いと回答負担を意識される方が多くなり、自由記述欄の回答でお叱りを受けるケースもある。性について悩みをお持ちの方が回答する設問がない場合には自由記述欄に書いていただけるのではないかと考えている。
委員	ご協力のお願いを 1 枚巻頭言でチラシのように入れてはどうか。アンケートをベースに市が何かしら施策のアクションを起こしているというリードがほしい。 また、男女共同参画のアンケートの意義が 2,000 人に伝わるように、上尾市のアクションとともに 1 枚あるといいと思う。 アンケートの最後にある自由記述欄は参考になる事例が多いため、自由記述を書いてもらうために例を載せてはどうか。これは質問というか希望。
委員	問 25 女性のみ回答の「キャリアアップし、組織の意思決定に関わる立場（管理職への昇進等）になりたいと思いますか。」で、「3 そう思わない」「4 そう思うができない」の次の設問 25-1 で「そのように思う理由は何ですか」の回答で「4 そのような立場になりたいと思わない」は理由を回答しているようには思えない。思わない裏にある理由を聞きたいのではないか。

委員		アンケートの最後にある自由記述欄の罫線は取った方が、書きたい人はたくさん書くと思う。
	事務局	問 25－1 の選択肢については、設問を設けるきっかけの情報を踏まえて事務局内で相談の上、必要なら修正をさせていただく。 自由記述欄の罫線は一般的にはあった方が書きやすいかと思っている。他の事例で、書きたいことがある方は別紙で書いたものを同封するケースもある。
委員		問 1 問 2 の PTA 活動の参加について、本校では PTA 活動がなくなっているため、その保護者は答えにくい。第 1 子の保護者の方は PTA の感じもわからないと思う。例えば（園・学校への協力）活動への参加のようにしてはどうか。ただ、4 頁問 6 の⑥は PTA 特有であるため、この整合が取れなくなる。 問 1 問 2 については、今後 PTA だけではない形が増えてくると思う。本校では PTA の代わりにサポーターという形で、全ての保護者の方たちがメンバーになっている。活動に協力いただけないか問い合わせてネットから参加をしていただいている。そういった形が増えてくると、PTA という括りにはしないほうがよいと思う。
	事務局	事務局内でどういう形がベストなのかを検討する。
委員		上尾市の PTA 活動は、「負担なく子どものため」というところで、働き方や組織体の見直しを市民から発信していこうとしている。
会長		自由記述欄の罫線について、若い方は罫線がない方がプレッシャーを感じず書きやすいのではないかと思う。罫線を外したら授業への意見などは書いてくれることが目に見えて多くなる。
委員		設問の多くが若い世代の方をお願いしているような内容に感じる。回答に影響はないのか。
	事務局	集計結果は市全体と年代別で結果を出すため、年代による違いの結果は見ることはできる。
会長		●報告事項 ①令和 6 年度版上尾市男女共同参画計画年次報告書（案）（令和 5 年度実施状況）について
	事務局	令和 6 年度版上尾市男女共同参画計画年次報告書（案）（令和 5 年度実施状況）について、5 頁から 8 頁の重点項目を中心に説明。
		●質疑応答
委員		8 頁の性教育について、学校で児童や先生に説明会をおこなった後、保護者から何か反応があったら教えてほしい。
	課長	まだ早いのではないかというような意見を拝見したことはない。家庭では話しにくいので良かった、インターネットなど親の知らないところで情報を得てしまっていて正しい情報を知れて助かる、というような肯定的な意見を頂戴していると認識している。子どもからも知らなかった、学べてよかったという意見をいただいている。

委員	女性登用 40%目標のところ、女性比率を上げるための今後の具体的な取り組みがあれば教えてほしい。
課長	どの部署も女性委員の登用を意識して取り組んでおり少しずつ増えている。しかし、委員の規定内で人選をしようとする分野によってかなり女性が少ないなど苦慮している。 今回 1.4%上がったことについて、令和 5 年の 12 月に市議会議員の選挙がおこなわれ、定数 30 人の中で、それまで女性の議員が 5 名だったところが 11 人になったことが大きな要因になっていると考えられる。
委員	物理的に参加できない方のために Web 会議はどうか。セキュリティをどのように担保するのかは難しいと思うが併用できればいいかと思う。
委員	女性委員 0 人の会議をなくすことが必要だと感じている。
会長	0 人から 1 人になった時の新たな女性委員は大変であると思われる。女性 1 人であることのプレッシャーや男性が進行する雰囲気になって女性が発言しづらい等注意が必要である。
会長	●報告事項 ②上尾市困難女性支援ネットワークの発足について
事務局	上尾市困難女性支援ネットワークの発足について説明。
委員	登録したら何か協力をするということか。
事務局	登録していただいてもご負担が増えるというわけではなく、今回の趣旨は支援が必要な方がいるにも関わらずこれまで支援に繋がっていなかった方を、ネットワークを広げて取りこぼさないようにするためのもので事務局が中心になって組織、機関をつなぐ役割になる。周りで困っている方の相談や情報共有の場として使っていただきたい。
会長	このネットワークがどういったものか説明する媒体はあるか。また、登録申込書はいきなり登録できてしまうように見える。審査的なものは必要だと思うため、申請書であればよいと思う。
事務局	関連の団体には、説明に伺い趣旨の説明とご協力の依頼をした上でチラシをお配りしている。公共施設等にも配架しているが、届いたものは全部登録ということではなく、改めて趣旨の説明や協力いただける期間で何ができるかを話し合いながら進めていく。
委員	民間企業を入れるのは個人情報などで非常に難しいかと思うが、情報共有やコラボレーションは Win-Win かと思う。
会長	●報告事項 ③その他
事務局	上尾市男女共同参画市民意識調査・実態調査票（案）の補足情報を説明。 上尾市困難女性支援ネットワーク講演会『DV・性加害はなぜ起こるのか』について説明。 人権について考えるつどい第 25 回あげおヒューマンライツミーティング 21 について説明。

会長	発言されていない方でご意見やお気づきの点があればお願いしたい。
委員	上尾市困難女性支援ネットワークにすごく興味がある。高校生や大学生は自身と周りの家庭環境を比較して、自分が困難女性だと気が付くことがあるかと思う。1人でも多くの女性がこのネットワークで人生が良い方向にいけばいいと思う。
会長	本日の議事を終わらせていただきたいと思います。 これで本日の議長を退任し、進行を事務局にお返しいたします。
課長	ありがとうございました。では、閉会のご挨拶を会長職務代理お願いいたします。
会長職務代理	●閉会挨拶
課長	以上を持ちまして、男女共同参画審議会令和6年第1回会議を終了いたします。 次回の会議は2月6日（木）の午前中を予定しております。 本日はありがとうございました。